上益城郡中体研

研究理事長　板床　龍哉

1　はじめに

上益城郡は、河田知治会長（清和中学校）を中心に、８校１６名の研究員で構成され、教科等研究会を活動の中心として研究を進めた。本年度は、昨年度に引き続き、体力づくりの意欲を高めるためには、授業にどのような工夫が必要になってくるのか、研究授業を中心に研究を進める計画だったが、熊本地震が発生し、ほとんどの学校が大きな被害を受け、授業もままならない状況になってしまった。地震の影響がどこまで続くのか予想が立たない中で計画を立て直し、小学校とも連携しながら本年度できることをやっていこうということになった。このような状況だったため、研究授業を例年２本実施していたが、本年度は１本に絞り、夏期実技研修会も中止せざるを得なかった。被害が大きかった学校では、各町の小学校と協力し空き教室を貸し借りしながら授業を進め、体育実技では体育館が使用できないため屋外でできる種目に変更し授業を進めた。

2　研究テーマ

一人一人が意欲的に取り組む保健体育学習の創造
～体力づくりの意欲を高める授業を目指して～

3　研究組織

〇会　長　　河田　知治（清和）
〇理事長　　板床　龍哉（蘇陽）
〇部会及び研究員

部会	夏期実技研修部会	授業研究部会	意識調査部会
重　点 事　項	実技研修の充実 ・実技研修会の提案 ・講師、内容の確認 ・日程、役割の確認 ・実践レポート研修会	意欲的に取り組む授業づくり ・研究授業の提案 ・事前研究会の充実 ・教材教具の提案 ・評価の実際	実践レポート報告会 ・実践レポートの提案 ・生徒の意識調査の実施 ・新体力テスト分析 ・次年度へつなぐ取組
チーフ	岩田　聡（木山）	板床　龍哉（蘇陽）	倉岡　武（御船）
研究員	顧問：服部起明（甲佐） 黒川克己（木山） 藤野博文（甲佐） 服部起明（甲佐） 藤原一也（矢部）	顧問：岩田雅子（清和） 田上大太朗（益城） 佐伯美早（嘉島） 松本　巧（益城） 松尾成也（益城）	村上伸一郎（御船） 武田　雅裕（清和）

4　活動状況及び予定

(1)　５月２６日（木）　【郡教科等研究会　半日研修（甲佐中学校）】
①役員選出　②研究テーマ、サブテーマの検討　③年間計画作成

(2)　７月２９日（金）　【熊本県中体研夏期研修会・体育実技講習会　終日研修】
熊本地震のため中止

(3)　８月　【郡教科等研究会　実技講習会　半日研修】
熊本地震のため中止

(4)　１１月２２日（火）　【郡教科等研究会　熊本県小学校体育研究発表大会（益城町）】
会員全員で公開授業、授業研究会、講演会への参加

(5)　１１月２５日（金）　【熊本県中学校体育研究発表大会（菊池郡市）】
本郡市より４名参加

(6)　１月２７日（金）　【郡教科等研究会 レポート研　年間反省等　半日研修（御船中学校）】
研究授業　単　元：球技・ゴール型「サッカー」
指導者：倉岡　武　教諭（御船中 ）

一人一人が意欲的に取り組む保健体育学習の創造
～体力づくりの意欲を高める授業を目指して～

上記のテーマのもと女子のサッカーの提案授業を行いってもらい授業研究を行った。

スキルウォームアップもサッカーの基礎であるドリブルやパスをしながら楽しく取り組める内容であり意欲を高めた状態で主運動に入ることができた。主運動に入ってからも教師主導の授業ではなく各チームで作戦を考えながら課題に迫るもので、活動をしていく中で課題が解決されるような内容であった。女子クラスの授業ではあったが大きな声がたくさん出ておりテーマに迫る提案授業になった。

5　おわりに

本年度は、４月の熊本地震により体育館やグラウンドも使用できない期間が続いた。郡中体研の予定も変更せざるを得ず、当初は２本の予定だった研究授業も、ようやく１本実施できたような状態である。しかし、本年度はこれまでなかなかできなかった小中連携に取組むことができ、小学校の研究会に参加させていただくことができたことは収穫であった。

学校を含めた郡内の体育施設の復旧にはまだ時間がかかるようで、完全ではない環境での授業が続くことになるが、お互いに協力し合いできることから研究を進めていきたい。